



# ふじ美が原

令和元年度最終号

富士見中学校

「輝進」をテーマに、全員参加を演出し、  
着実かつ積極的な活動を進め、輝いた卒業生

第10回卒業式

「挑戦を！」

はじめの一步を踏み出して挑戦したからこそ、  
皆さんは多くの目には見えない財産を得ることができた

### 式辞

冬の寒さも和らぎ、校舎まわりの桜やケヤキの芽ぶきが、春を感じさせてくれる季節となりました。

今現在、私たちは、「国難」、いや、「世界規模での困難」とも言うべき事態に遭遇しております。そのような常ならぬ状況の中、関係各位のご尽力、保護者の皆様のご理解とご協力、卒業生諸君の自らを律する生活態度があったおかげで、今日という日を無事に迎えることができました。本日ここに、第十回富士見中学校卒業証書授与式を挙行できますこと、誠に嬉しく思っております。

さて、第十期生、一三三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。この富士見中学校を巣立つ皆さんに、まずは、感謝の気持ちを伝えたいと思えます。

皆さんは、様々な場面で、学校生活をリードしてくれました。生徒会活動では、「輝進」のテーマの下、全員参加を大切に、着実かつ積極的な活動を進めてくれました。集大成の一つとも言える白鈴祭では、まさに、一人一人が輝く場面が生まれていました。役員だけではない、富士見中学校の生徒全員が主人公である、そんな強い願いが実際に活動として表現されていた二日間でした。合唱祭での、力強く深みのある歌声も見事なものでした。最上級生である皆さんには、一・二年生が目指すべき姿を示さねばならないという暗黙のプレッシャーがあります。しかし、皆さんは、それを自分たちが前に進むエネルギーに換えていたのだと思

います。この場では、ごく一部しか伝えることができませんが、どうか、この富士見中学校の三年間で得た経験を、これからにつなげて行ってほしい、そう切に願っています。

さて、皆さんの「これから」に私が願うことについて、「挑戦」という言葉をキーワードに、話をしたいと思えます。

マザーテレサは次のような言葉を残しています。

神様は私たちに、成功してほしいなんて思っていない。ただ、挑戦することを望んでいるだけです。

結果として成功するかしないかは、大きな問題ではありません。そもそも、何をもち「成功」とするのかについては、様々な捉え方ができることなのです。

例えば皆さんが一生懸命に取り組んできた部活動。当然のことながら、上位大会への進出、といった目標があったことと思えます。ではその上位大会に進出できなかったからと言って、皆さんの取組は「成功ではなかった」と言えますか？ そのようなことはないと思えます。「こうなりたい」という願いをもった、それを実現するために具体的に行動した、つまり、「挑戦」した。そのこと自体に価値があるのではないのでしょうか。そして、はじめの一步を踏み出して挑戦したからこそ、皆さんは多くの目には見えない財産を得ることができたのではないのでしょうか。

成功するかしないか、ではなく、挑戦するかしないか、だと思えます。勇気をもって一步を踏み出してください。「挑戦」の中身は、必ずしも人と

同じである必要はありません。自分にとって「頑張ってやってみよう」ということであれば、それはあなたにとつての「挑戦」になるはず。以上、私が願うことについて話をしました。皆さんのこれからの更なる活躍を、大いに期待しています。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。中学校三年間は、自我が芽生え、心が揺れ動きながら、人間的にも成長する時期であり、何かとご心配された事も多かったことと思えます。本日立派に卒業を迎えられたお子様の姿から、三年間の思いも蘇り、感無量と拝察いたします。これから先につきましても、今まで以上にお子様の前途を温かく見守っていただけたらと思っております。

最後になりましたが、本日ご参列の皆様方のご多幸をお祈りするとともに、卒業生の前途を祝して、式辞いたします。

令和二年三月一八日

学校長 塚越 智英

### 送辞

雄大な八ヶ岳や南アルプスにかぶった雪も溶け始め、やわらかな春の日差しが降り注ぐこの佳き日に、富士見中学校を卒業される三年生のみなさん、本日はご卒業おめでとうございませう。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

私たち在校生は、先輩方の姿から、たくさんのことを学ぶことができませう。生徒会活動や部活動、白鈴祭、合唱祭での取り組みだけではありませう。あいさつや清掃などふだんの学校

生活でも、一人ひとりが輝いて見え  
ました。そんなみなさんの姿は、私たち  
にとって誇らしく、憧れでした。

「輝進」全員主役、輝く個性」をテ  
ーマとし、全校が一つになった白鈴祭。  
二日間を通し、みんなの笑顔がどん  
どん増えていきました。閉祭式の全校  
ダンスでは、学校全体が一体感に包ま  
れていました。こんなにもたくさん  
顔に包まれ、充実した白鈴祭になっ  
たのも、見えないところで多くの準備を  
してくださった姿や、後輩の前に立ち  
たくさんのことを教えてくださった  
姿、会場全体を盛り上げてくださった  
姿があったからこそだと思います。今  
年度の白鈴祭はまさに、一人ひとりが  
個性を出し、全員が主役になりました。

きれいな音色が体育館に響き渡った  
合唱祭。練習の時は、三年生との合唱  
交歓会を通して、みんなで協力して練  
習することの大切さを学びました。本  
番のクラス合唱は、どのクラスも最高  
の歌声を響かせてくれました。中でも  
学年合唱「ヒカリ」は、曲のはじめか  
ら引き込まれました。とても美しく、  
迫力ある合唱として、今でも心に残っ  
ています。私たちも三年生のような合  
唱を作りたいと、強く思いました。

部活動では、あいさつや礼儀など、  
基礎となることをたくさん学びまし  
た。いつも一生懸命、手を抜かずに練  
習に取り組んでいる姿は、私たちのお  
手本になりました。試合のときは、最  
後まで諦めず、声を出していた姿が今  
でも心に残っています。

今年度は、平成から令和へと時代が  
変わり、日本は節目の年となりました。  
それと同時に、富士見中学校も十周年  
つくった節目の年でした。十周年記念で

みんな文字を彫り、名前を書き、一  
生消えない思い出の記念品となりまし  
た。また、今年度は、災害の多い年  
もありました。長野県でも、台風によ  
り多くの人が被災されました。被  
災地では、ボランティアとしてたく  
さんの人が、一日でも早い復興に向け  
て支援をする姿をニュースで見まし  
た。

私には、三年生の姿とボランティアの  
みなさんの姿が重なって写りました。  
下級生が困っていたら、そっと手を差  
し伸べてくれた三年生。委員会の企画  
に積極的に参加をする三年生。いろん  
な所に目を配り、心を配り、率先して  
動く三年生。人のために尽くす、そん  
な三年生の姿が、本当に格好良かっ  
たです。

そんな三年生とも、今日でお別れです。  
生徒会を引き継いだばかりの私たちは  
不安な気持ちでいっぱいです。ですが、  
これまで三年生がつないできた富士見  
中の伝統と、新たに築いてこられたも  
のを引き継ぎ、さらに新しく、良いも  
のにしていきます。そして、富士見中  
学校の卒業生となるみなさんに、誇り  
に思ってもらえるような学校にしてい  
きます。

ここで、3年生を送る会でお見せす  
ることができなかつた、3年生の今日  
までの日々を、映像を通して振り返っ  
て見てほしいと思います。(映  
像)

先輩方は、これから、それぞれの道  
を歩いて行かれます。生徒会スローガ  
ン「輝進」のように、それぞれの道で、  
自分の個性を輝かせ進んでいってくだ  
さい。私たちは、いつでも先輩方を応  
援しています。

私たちは、先輩方とともに、学校生  
活を送れたことに感謝しています。今

まで本当にありがとうございました。  
令和二年三月十八日  
在校生代表 雨宮結和

### 答 辞

厳しい富士見の冬の寒さも和らぎ、  
芽吹きを感じさせるような土の香りや  
柔らかな春の日差しが降り注ぐ、今日、  
この佳き日、私達一三三名は、三年間  
の中学校生活そして、九年間の義務教  
育を終えて、この学び舎を巣立ちます。  
私達の卒業にあたり、このような状  
況下におきましても卒業証書授与式を  
挙行していただき、誠にありがとうございました。  
ごさいます。校長先生からの御訓辞は  
じめ、皆様からかけていただいた言葉  
の一つ一つが大きな励ましとなり心に  
響いています。

今、三年間の中学校生活をふり返  
ると、仲間との沢山の思い出が懐かし  
くよみがえってきます。

少し大きめの制服に身を包み、期待と  
不安を抱きながら迎えた入学式。誰と  
一緒のクラスなのか、どんな人がいる  
のか、仲良くなれるのだろうか、そん  
なことを思いながら昇降口に張り出さ  
れた紙をドキドキしながら見たことを  
思い出します。教室に入ると、初めて  
会う人たちがばかりで緊張感あふれる雰  
囲気でしたが、いつのまにか打ち解け  
合い、和やかな雰囲気になりました。

制服を着用しての登下校にはじま  
り、五十分間の授業や部活動など初め  
て経験することが多く、最初の頃は日  
常生活の変化に戸惑うことばかりでし  
た。しかし、月日が流れるにつれてそ  
の環境にもなじむことができました。  
部活動では、何度も壁にぶつかり苦  
しいこともあったなかで仲間と共に一

つの目標にむかって努力を続け、喜び  
や悲しみ、悔しさを分かち合うことが  
できました。

また、中学校では、学習の定着をは  
かるための定期テストが行われまし  
た。テスト勉強の大変さを味わいな  
がら、テストを一つの目標として勉強に  
励んできました。

学年行事では、自然とふれあい、仲  
を深めた宿泊学習。まだよく知らない  
友だちもいる中で、キャンプファイヤ  
ーでは、学年全員で一つの火を囲み最  
高に盛り上がりました。

働くことの大変さ、やりがいなど沢  
山のことを学んだ職場体験学習。親の  
偉大さを実感すると共に社会の厳しさ  
を感じ、自身の成長につなげることが  
できました。

クラス、学年の仲間との時間を楽し  
みながら日本の歴史を学び、さらに仲  
を深めた修学旅行。バスの中ではカラ  
オケやレクなどで盛り上がり、各クラ  
スの色が出た素敵な時間になりました。

生徒会では、「輝進」全員主役「輝  
く個性」というスローガンを掲げ、  
会員全員で一体となって体育館を揺ら  
した白鈴祭。全員が一生懸命ダンスを  
踊り、歌を歌い、楽しむ姿を見たとき  
には感動で胸がいっぱいになりました。  
長い準備期間があったからこそ感じ  
られる喜び

は計り知れないものでし  
た。三年生が  
中心となって  
盛り上がり、  
会員全員が笑  
いながら全力  
で楽しんでい



る姿は今でも忘れることができませ  
ん。沢山の場面で会員が関わり合っ  
て責任を果たし、沢山の協力があつたか  
らこその大成功でした。

様々な行事での思い出は言うまでも  
ありませんが、こうしてふり返ると当  
たり前の様に過ごしてきた仲間との毎  
日が何よりも幸せなものでした。友だ  
ちとした他愛のない会話、給食では、  
おかわりの全力のじゃんけん、ペラン  
ダでのひなたぼっこ。友だちと一緒に  
過ごしたからこそ、深く思い出に残っ  
ています。夏の暑い日は汗を流しながら  
、冬の寒い日は白い息を吐きながら  
、通い続けました。学校に行くのが気の  
すすまない日でも友だちに会いたいか  
ら頑張っていたと思える、最高の仲  
間達との毎日でした。

この富士見中学校で出会い、共に学  
び、悩み、語り合い、笑い合い、ぶつ  
かり合い、励まし合ってきた三年間は  
かけがえのない大切な宝物です。意見  
が食い違って喧嘩をしたり、ちっぽけ  
なことでもモヤモヤしたり、沢山沢山悩  
みました。しかし素敵な仲間達のお  
おかげで、幸せな三年間の学校  
生活を送ることができました。  
これから自分の決めた進路  
へと進みます。離ればなれ  
になつてしまつたため寂しさ  
や不安もありますが、仲間  
達との思い出を胸にし  
ま、この富士見中学校で学  
んだことに自信と誇りを持  
つてそれぞれが力強く一歩  
を踏み出して行きます。

先程は心温まるはなむけの  
言葉がありがとうございまし  
た。在校生の皆さんが伝統を引  
き継ぎながら自分たちの色を出し



て、よりよい富士見中学校を創って  
いてほしいと思います。卒業生一同応  
援しています。

私達を時に厳しく、また優しく、ご  
指導くださいました先生方。勉強だけ  
でなく一人前の人間へと導いて下さ  
いました。厳しさの中にも私達を第一に  
考え、寄り添い、いろいろな面でサポ  
ートをしていただきました。先生方が  
いたからこそ沢山の経験をし、豊かな  
自分を創ることができました。これか  
らも教えていただいたことを忘れず  
に一歩一歩進んでいきます。ありが  
とうございました。

そして、いつでも私達を見守り、一  
生懸命に支えてくれた家族。朝一番に  
起きて朝食を作り、笑顔で見送り、帰  
ってくるまで仕事で疲れた中でもおい  
しい夕食を作ってくれました。普段は照  
れくさくて言えないのですが、この場  
をお借りして感謝を伝えたいと思いま  
す。思春期の私たちはたくさん心が揺  
れ動き、心が苦しくなったり、深く思  
い悩んだりして大変な時も多ありま  
した。そんな中、どんな状態  
の私たちであっても温かく  
受け止め、支えてくれたま  
は味方でいてくれたこと  
がとても心強かつたで  
す。十五年間育ててきて  
くれてありがとうござ  
いました。おかげで今日  
いう日を迎えることが  
できました。これからも半  
人前の私達はまだまだお  
世話になると思いますが、  
一生懸命生きていきます  
ので、温かく見守って下さ

い。

正直なところ、私はこの場に立って  
答辞を読んでも卒業を実感するこ  
とができいていません。「じゃ！また  
ね！」と友だちに元気よく手を振り、  
また明日からもいつも同じ様な日常  
がある気がしてなりません。チャイム  
が鳴った瞬間体育館へと真っ先に走  
って行くみんなの姿、他愛のないこと  
で盛り上がり馬鹿笑いするみんなの姿、  
元氣よく移動教室へと移動するみんな  
の姿、廊下で騒ぐみんなの姿が目につ  
かびます。ですが、私達にはもう富士  
見中生としての明日はありません。

私達は、今日から新たな一歩を踏み  
出し、よりよい自分作りをしていかな  
ければなりません。義務教育を終え、  
今より責任を伴う未来には不安があり  
ます。一人前の人間として見られるよ  
うになるため、自分で沢山の選択をし  
ていかなければなりません。高校では  
友だちと仲良くすることができるとい  
か。自分の力で自分の未来を創って  
けるのか。今はそんな不安ばかりです。  
これからも沢山の壁にぶつかり、苦勞  
を重ねることと思います。上手くいか  
ないことの多さに耐える時もあると思  
います。そのなかでこの富士見の地  
仲間と過ごした日々を思い出し、自  
信を持って自分の道を切り拓き、力強  
く羽ばたいていきます。

「響け この歌声 響け 遠くまで  
も あの空の彼方へも 大切なすべて  
に届け」  
最後に今まで私達を支えてきて下さ  
った全ての方々に感謝の思いを込め、  
仲間との思い出を思い出しながら精一  
杯「群青」を歌い、答辞とさせていただきます。

令和二年三月十八日  
卒業生代表 吉川大介

### 保護者代表挨拶

本日、この富士見中学校から巣立  
ていきます卒業生の保護者を代表致  
しまして、謹んで お礼の言葉を述べ  
させていただきます。

風が春の香りを運び、やわらかな陽  
ざしが暖かさを増し新しい季節を感じ  
る頃となりました。本日は、このよう  
な厳粛かつ盛大な卒業式を執り行  
ったいただき、誠にありがとうございます。  
校長先生をはじめ、すべての教職  
員の皆様に、保護者一同心より厚く御  
礼申し上げます。校長先生から頂き  
ましたお祝いとお励ましのお言葉は  
卒業生に夢と希望を与えたことでし  
ょう。来賓の皆様、また、地域の皆様  
におかれましては、この晴れの日に臨  
席賜ることかありませんでしたが、多  
くの皆様が携わり支えてくださったお  
かげと、心より感謝しております。在  
校生のみなさんは、3年生と一緒に  
行事や部活動を盛り上げてくださり  
ありがとうございました。

そして、卒業生のみなさん、本日、  
この日まで、健やかに育ち苦難を乗り  
越え、こうして卒業証書を受け取  
り、これからの人生、よく頑張りました。  
三年間の成長の証である卒業証書を真  
剣な眼差しで受け取る姿を見て、私  
たち保護者は胸がいっぱいです。

小学校と違い、楽しいことだけでなく、  
難しいことも多くなり結果を求められ  
る勉強や部活動では、何度も自分と向  
き合い、心折れそうになったこと  
でしょう。そんな時、手を差し伸べ、認め、  
支えてくれた仲間のおかげで、自分を  
信じ、乗り越えることができました。

これからの人生で迷い不安になるときも、仲間を思い出し、前に進む勇気が持てると思います。そして、仲間とかけがえのない存在に感謝するだけでなく、次へつなげてください。それは、心折れそうな仲間がいたら、自分が助けられたことを思い出し、手を差し伸べてあげることです。誰かのために頑張ったことが自分のためになることがあり、自分のために頑張ったことが誰かの役に立つこともあります。自分たちがにできることは、人それぞれ違いますが、受けた恩を感謝の気持ちで終わらせることなく、自分にできることを他の誰かや地域に返して繋げてほしいと思います。

この富士見中学校で学んだこと、経験したことであなただちはできています。ご両親が命を懸けて繋いでくれた命を、託された未来を、地域の知恵や文化をこれからもつないでほしいのです。

数々の行事を通して子どもたちの成長を実感し、数えきれないほどの感動を味わえたことは、保護者としてこの上ない幸せです。これもひとえに先生方の、時に厳しく、愛情深いご指導のおかげと心より感謝いたします。本当にありがとうございました。そして、どうぞ今後とも変わらぬご指導の程、よろしくおねがいします。

最後になりましたが、富士見中学校の益々のご発展と、諸先生方、そして生徒たちと関わってくださったすべての皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

令和二年 三月 十八日

卒業生 保護者代表 高橋真裕子

## 令和元年度の終わりに・・・

### 一年間、大変お世話になりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、全国の小中学校が臨時休業になるという過去にない大変な年度末となりました。後期選抜入試への準備、楽しみにしていたクラスマッチの中止、卒業に向けてクラスや学年で計画していた活動もできなくなってしまいました。友達と笑い合ったり、励まし合ったりする時間もなくなり、外出もままならない生活、不安も大きかったのではないのでしょうか。そんな中本日、無事、第10回卒業証書授与式を挙行することができました。

133名の卒業生が、今後も健康で活躍されることをお祈りしております。又、4月より2・3年生となる在校生には、ますますよい学校を創り、ともに伸びていって欲しいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、大変お世話になりました。来年度以降も引き続き富士見中学校の教育活動にご協力いただきますよう、お願いいたします。学校職員も全員で力を合わせて一杯努めたいと存じます。

## ◆転退職員紹介◆

令和元年度末をもって転退職になる職員は、次の通りです。

☆小林 俊男(教頭)

川上村立川上中学校校長へ

☆小林 咲子(三年・国語)

大田市立第一中学校へ

☆馬場ゆみか(三年八部・国語)

上田市立菅平中学校へ

☆佐伯 純一(三年・社会)

茅野市立長峰中学校へ

☆松澤 大斗(二年・数学)

茅野市立永明中学校へ

☆森川 一成(一年・理科)

岡谷市立岡谷南部中学校へ

☆宮坂亜由香(一年・英語)

下諏訪町立下諏訪南小学校へ

☆向井明日子(養護教諭)

ご退職

☆ラザリス・アルベルト(ALT)

ご退職

☆中山 玲子(給食調理員)

富士見町立本郷小学校へ

☆中村 晶子(給食調理員)

富士見町立境小学校へ

任期の長短はありますが、いずれもご家庭や地域の皆様にお支えいただいたものと感謝申し上げます。大変お世話になりました。

## ○春休み中の生活、外出等について

3/2～17までの臨時休業が終わり、春休みに入ります。しかしながら、まだ感染症流行の収束には至っておりません。今後の動勢により、予定や対応の変更を連絡メールでご連絡をする場合もあります。春休み中の生活について、以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- ①臨時休校中は、休校の趣旨から、外出は極力控えるようお願いしたところですが、春休み中については、各ご家庭のご判断にお任せいたします。
- ②なお、外出の際は、交通事故防止、感染防止に十分に注意するよう、引き続きご指導をよろしくお願いいたします。
- ③休み中のコロナ・インフルエンザ等への感染につきましては、今まで通り「平日は学校へ電話を」「休日は富士見中 Web ページより」連絡をお願いします。

富士見町立富士見中学校  
諏訪郡富士見町富士見四六五四番地  
TEL 02666622009

担当 油井 彰